2026 年度

研究分野	授業科目名	科目責任者
生理系分野	精神行動科学特論Ⅰ・Ⅲ	石原 武士

開講年次	共通／専攻／選択	単位数	
1,2,3,4	特論Ⅰ：必須専攻, 特論Ⅲ：選択	特論Ⅰ：4（2/年）, 特論Ⅲ：1/年	

目的

精神障害の成因と治療について研究するために，最先端の基礎研究・臨床研究について，方法論と解釈の仕方を習得する。

授業到達目標

（1）統合失調症の成因と治療についての最新の研究を説明できる。
（2）気分障害（うつ病，双極性障害）の成因と治療についての最新の研究を説明できる。
（3）強迫性障害・摂食障害の成因と治療についての最新の研究を説明できる。
（4）発達障害（自閉スペクトラム症，注意欠如多動性障害など）の成因と治療についての最新の研究を説明できる。
（5）身体疾患を持つ患者の心理や治療についての最新の研究を説明できる。

授業計画

回数	月日	曜日	時間	担当者	区分 1	区分 2	授業内容
1	隔週	火	17:30-18:30	石原 武士	講義	[抄読会]	精神医学全般の基礎的な研究，臨床研究，疫学研究等に関する英文文献を紹介する。 [場所:本館棟７階カンファレンス室１]
2	隔週	火	17:30-18:30	村上 伸治	講義	[症例検討会]	難治症例・対応困難症例検討会 [場所:本館棟７階カンファレンス室１]

評価方法

【特論Ⅰ】
（1） 1年間※で 30 時間出席し，科目責任者から履修手帳に出席印をもらい，提出する。
（2） 1年間※で，論文紹介または症例発表を２回行い，その要約２編を提出する。
【特論Ⅲ】
（1） 1年間※で 15 時間出席し，科目責任者から履修手帳に出席印をもらい，提出する。
（2） 1年間※で，論文紹介または症例発表を２回行い，その要約２編を提出する。
ただし，特論Ⅰ・Ⅱで紹介したものとは異なる論文（症例）であること。
特論ⅠとⅢの同年度での重複受講は不可とする。
※１～３年生は２月末まで，４年生は 11 月末までの講義を当該年度の単位認定の対象とする。

課題（レポート等）に対するフィードバック

紹介論文の要約について，添削して返却する。

教科書

ISBN-9781975175733, Kaplan & Sadock's Comprehensive Textbook of Psychiatry (11th Edition), in 2 vols, R.Boland, M.L.Verduin, Wolters Kluwer, 2025

参考書

ISBN-9781118381960, Rutter's Child and Adolescent Psychiatry（6th Edition）, Michael Rutter, et al., Wiley-Blackwell, 2015

準備学習（予習・復習等）

（1）毎週毎に紹介する文献・論文を，次回講義までに読み，簡略かつ明確に伝えられるように準備しておく。
（2）該当する論文の主張をそのまま受け入れるのではなく，否定的な見地からも検討してみる。
（3）難治症例・対応困難症例については，同じような症例について文献検索を行い，対処法の提案を心がける。
1 時間程度

修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

課題を探求し，仮説を立て，検証に至る科学的方法論・思考法を知悉する。

注意事項・メッセージ

課題となる論文のみでなく，できるだけ多くの文献（英語文献を含む）に触れ，知識を深めていく姿勢が望まれる。